

つながる にぎわう すまいるシティ 春日部

第2次春日部市総合振興計画
2018▶2027



つながる にぎわう すまいるシティ 春日部

第2次春日部市総合振興計画
2018▶2027

「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」の実現に向けて

春日部市は、2008年（平成20年）に「春日部市総合振興計画」をスタートさせ、合併直後の新「春日部市」の一体感を醸成するとともに、さらなる発展に向けて市政運営を一步一步進めてまいりました。

計画期間である10年間では、土を耕し、種をまいて大切に育てることで、大きな成果を予感させる沢山の芽生えを実感することができました。



「第2次春日部市総合振興計画」は、その芽を市民の皆様と共に培い、本市ならではの新たな魅力を創り出し、春日部市を大きく飛躍させ大輪の花を咲かせる計画としてまいります。

この計画では、「市民の皆様が、まちづくりについて考え行動すること」、「水と緑、歴史と文化を大切にしながら新たなまちの魅力を創り出すこと」、「未来を担う子どもたちが夢や希望をかなえられるよう市民と行政が共に取り組むこと」の3つの考えを大切にし、まちづくりの理念を「市民が主役」「まちの魅力を創る」「共に未来へチャレンジする」といたしました。

また、まちの将来像を「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」と定め、たくさんの明るい笑顔が輝き、いきいきと暮らしている人々と魅力的なまちを行き交う多くの人で活気にあふれ、だれもが「住んでみたい、住み続けたい」と思う、だれからも「選ばれるまち」を築いてまいります。

今後も、市民の皆様と共に考え、共に協力し、共に行動して夢や希望を叶えられるまちづくりに、たゆまぬチャレンジを続けてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様、また、熱心なご審議をいただきました審議会委員、並びに市議会議員の皆様にご心から感謝を申し上げます。

2018年（平成30年）3月

春日部市長 石川良三

市章



2006 年（平成 18 年）3 月制定。デザインは、春日部市の「春」の文字をモチーフに、自然あふれる緑の新市と旧 2 市町を表した 2 本の緑のライン、未来を表す正円と飛翔する市民が描かれ、また、市民一人ひとりがお互いに協力して、まちづくりに励み、飛躍と発展を続けるまちづくりを推進する願いが込められています。

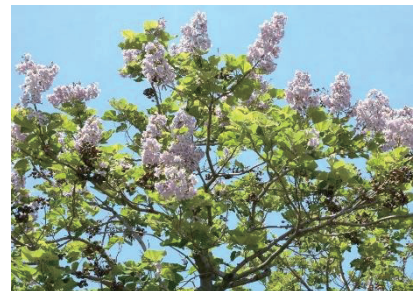
市の花:フジ



フジは古くから人々に愛されており、牛島のフジは国の特別天然記念物に指定されています。「ふじ通り」や駅前広場、公園には藤棚が整備され、多くの市民に親しまれています。また、開花の時期には「春日部藤まつり」が開催され、毎年多くの人でにぎわっています。

市の木:キリ

キリは国内でとれる木材として最も軽く、木目も美しいため、古くから良質な木材として重宝されてきました。春日部市の特産品である桐たんす、桐箱、押絵羽子板などの材料としても用いられており、全国に誇る桐産業の歴史と文化、伝統を次世代につないでいます。



市の鳥:ユリカモメ



ユリカモメは伊勢物語の中で、在原業平が隅田川（現在の古隅田川）にいる「都鳥」を詠んでおり、春日部市にとって歴史的にゆかりのある鳥です。冬になると、市の中心を流れる大落古利根川をはじめとした市内の水辺に飛来し、その愛らしい姿で市民に笑顔を運んでくれます。

市の花・木・鳥は、市民アンケートの結果を参考として、2007 年（平成 19 年）2 月に決定しました。

市の歌：心の空



たくさんの人の春日部への想いが込められた市の歌「心の空」は、*かすかべ親善大使であるあえかさんにより制作されました。小・中学生の「春日部の思い出」がつまった、大人でも「なつかしいな」と共感できる曲は、「音楽のまち 春日部」のさまざまな場面で歌われています。

心の空

作詞・作曲/あえか

編曲/西本 明

桜の花びら 舞い散る公園橋
みんなで 自転車で はしゃぎ回った
香る紫の パレード 鳴り響いて
沢山（たくさん）の笑顔が 光ってた
悲しい時 悔しい時
古利根川の水面（みなも）を見ると
また 前に 進めるんだ
心の空に 風を舞い上げて
どんな時も 上を見よう
駆けてく君と 呼び掛ける僕は
離れてても 心は一つ
土手を走って 橋を渡って
どんな涙も かわくよ
麦わら帽子 吹き抜ける風
帰る場所は いつでも ここにあるから

続く御神輿（おみこし） 賑わう夏まつり
かき氷 シロップ かけ過ぎちゃった

人混みの中で 見つけた 友だちは
今も変わらずに 輝いてた

迎えに行く時 送って行く時
東口で手を振るといつも
愛しさが 止まらないんだ

心の空に 歌声かざして
どんな時も 夢を見よう
無邪気な君と 見つめる僕は
寄り添い合えば 心は一つ
瞳を合わせて 想いを重ねて
どんな願いも 叶（かな）うよ
夕日が綺麗（きれい）な あの通学路
帰る場所は いつでも ここにあるから

心の空に 風を舞い上げて
どんな時も 上を見よう
駆けてく君と 呼び掛ける僕は
離れてても 心は一つ
土手を走って 橋を渡って
どんな涙も かわくよ
麦わら帽子 吹き抜ける風
帰る場所は いつでも ここにあるから

市の歌「心の空」は、新市施行10周年を記念し、2015年（平成27年）10月に制定しました。

目次

I. 総 論

第1章 はじめに	1
第2章 社会経済情勢の変化	3
第3章 本市の現状	6
第4章 市民意識の動向	32
第5章 前計画後期基本計画の評価	37
第6章 まちづくりの主な課題	41

II. 基本構想

第1章 まちづくりの理念	45
第2章 まちの将来像	46
第3章 まちづくりの枠組み	47
第4章 まちづくりの基本目標	51

III. 基本計画

第1章 前期基本計画の概要	58
第2章 重点プロジェクト	59
第3章 分野別計画	73
1. 施策体系図	73
2. 各施策の内容と読み方	75
基本目標1  子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち	79
基本目標2  いつまでも健康でいきいきと暮らせるまち	95
基本目標3  市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち	123
基本目標4  恵まれた自然の中で安心安全に暮らせるまち	145
基本目標5  地域の資源を活かした魅力あふれるまち	165
基本目標6  人々が集い、にぎわいのある快適なまち	183
基本目標7  市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち	209
第4章 国土強靱化	226

資料編	245
-----------	-----